



ポイント

1 複数形

名詞で複数形のあるものは品詞のあとに (複) と表示してあります。複数形には規則変化するものと不規則に変化するものがあります。

規則変化するもの：

apple ⇒ apples

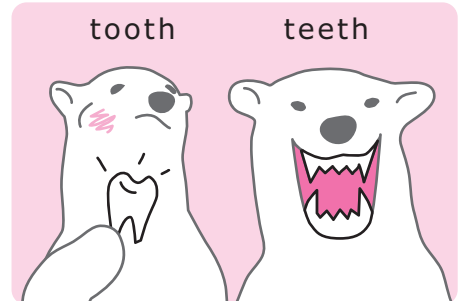
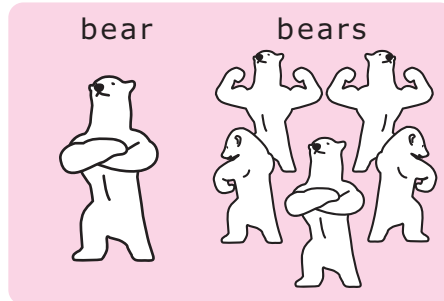
class ⇒ classes

history ⇒ histories

不規則に変化するもの：

man ⇒ men

tooth ⇒ teeth



ap·ple 小

/æpəl/ アプル A1 名 (複) apples /æpəlz/

㊦ リンゴ(の実); リンゴの木 (= apple tree)

2 可算名詞と不可算名詞

名詞には 1 つ 2 つと数えられるものを表す「可算名詞 (countable)」と、数えられないものを表す「不可算名詞 (uncountable)」があります。頭文字をとって可算名詞を㊦、不可算名詞を㊵で表します。

㊦の名詞は a、an が付いたり、複数形になったりしますが、㊵の名詞は a、an が付くことも、複数形になることもありません。両方の使い方ができる名詞もあります。

㊦ チェック 1 次の (1)、(2) の複数形を書きましょう。また (3)、(4)、(5) の単数形を書きましょう。

例) baby babies

(1) cup _____

(2) woman _____

(3) cities _____

(4) lives _____

(5) children _____

㊦ チェック 2 次の語は ㊦ ㊵ のどちらに当てはまるか辞書で調べて書きましょう。

bread, camera, dance, head, hour, library, milk, music, shoe, soccer, tennis

[㊦]

[㊵]